

## ヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom」を 北海道ニセコ町に提供し、健康増進を支援



株式会社ディー・エヌ・エーのヘルスケア事業の中核を担う株式会社データホライゾン(本社:広島県広島市、代表取締役社長:瀬川翔、以下データホライゾン)は、北海道ニセコ町の委託を受け、同町内の国民健康保険に加入する満19歳以上(令和7年3月31日現在)の方を対象に「楽しみながら、健康に。」を実現するDeNAが開発したヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom」の提供を開始します。

当社グループは、ヘルスケア事業におけるグループ各社のシナジーを発揮するため、自治体向け営業活動については、データホライゾンの全国営業網という強みを最大限に活用する取り組みを進めています。「kencom」については、データホライゾンによる積極的な営業展開も推進しており、今回の受注は、同社におけるkencom提供の第一号案件となります。

ニセコ町では、健診未受診者による健康状態の把握の難しさや、生活習慣病の重症化予防が不十分であることが課題となっています。こうした課題の解決に向け、「kencom」を導入することで、歩数・体重・血圧等のPHR(パーソナル・ヘルス・レコード)データや健診結果の可視化と共に、町民の健康意識の向上や健康行動の習慣化、特定保健指導の促進を通じ、生活習慣病の重症化予防をサポートしていきます。

「kencom」は 2015 年のサービス開始以来、健康保険組合、健診医療機関、地方公共団体、生命保険会社など 127 団体、約 840 万人への提供実績があり、ユーザーの健康意識にかかわらず健康増進をサポートするアプリとして評価されています。

ユーザーは、健康行動に応じてポイントを獲得できるプログラムや、ゲーム開発の技術を応用したペットキャラクター育成機能、オンラインウォーキングイベントへの参加など、楽しみながら日々の健康習慣を促進しています。その結果、継続率（登録者のうち 5 年後も来訪して利用している人数の割合）は約 65%と高い水準を維持しています。

このような導入効果を背景に、今後も「kencom」を活用した生活習慣病予防に取り組む保険者の拡大を積極的に進めてまいります。当社グループのヘルスケア事業が持つ知見や技術を最大限に活用し、生活者の健康寿命の延伸と医療費の適正化に引き続き貢献していきます。



## <kencom の主な機能>

### 1. 健康活動のきっかけ作り

保険者が提供する健診結果を経年変化や同性同年代との比較等、被保険者の健康状態を分かりやすく表示し、スマホで閲覧可能。また将来の健康状態を予測する「ひさやま元気予報」で健診結果に基づいた生活習慣病の発症リスクを可視化。

### 2. 意識を変容する

ユーザーの健康状態・趣味嗜好に合わせた記事を表示。記事を読覧することで、健康に対する意識を変える。

### 3. 行動を変容する

年に2回(春/秋)開催するオンラインウォーキングイベント「みんなで歩活」で歩くきっかけをつくる。

### 4. 行動を継続する

ミッションの達成などで付与されるポイントを貯めることで、行動が継続できる。

### 5. 健康活動を楽しむ

健康活動をするとペットキャラクターとコミュニケーションができる、キャラクター育成機能「エアモ」で、健康活動を楽しく習慣化する。